

Bridges

【第31回海外研修 体験記】

第31回海外研修は全日程予定通り実施されました。参加生徒達はそれぞれ思い出深い体験をし、無事帰国することができました。

以下に、参加した生徒の感想のうち、一部を紹介させていただきます。

◎高橋(空)君(高校1年)

この体験は全てが新鮮でした。

今までは家族との旅行で海外を訪れることはありましたが、外国人との対話はほとんど両親が行ってくれていました。しかし今回はホームステイ先の家にたった一人でお世話になることがあったので不安でした。現地では、文法が成り立たなくても簡単な単語を並べたり、ジェスチャーを使ったりすることで、曖昧ではありましたが相手に言いたいことを大体伝えることができ、自分も理解することができました。

その中で私は自分の英語の語彙力の無さを実感しました。もっと英語を理解できて話せたら、自分の世界が広がったのに、と。

この経験を通して、英語を学ぶことへの大きなきっかけができました。海外研修に参加できて良かったと思っています。

◎星(歩)君(高校1年)

私はこの研修に行くまで海外に渡航した経験がなく、アメリカを始めとした海外のイメージは銃の乱射事件が起きたなど、あまり良いものではありませんでした。ところが、

実際に行ってみると田舎町ということもあったのですが、平穏でとても事件が起きるような場所とは思えませんでした。さらに、普段から学校で会っている友達や先生方と毎日のように会うことができるため、とても安心して毎日を過ごせました。

それでもやはり、自分の話す英語が相手に伝わらなかったり、相手の話す英語が理解できなかったりということによる焦りや時差ボケや慣れないところで寝なければならなかったりと、日本にいる時よりも眠れたとはいえません。ですが、そういった焦りや睡眠不足を辛いと感じることも、海外に行ったことによる経験の一部だと考えれば乗り越えていくことができました。

先述の通りですが、初めての渡航でも安心できる要素も多く、海外ならではの経験が沢山できるこの研修でちょっとだけ成長できたような気がする上に、世界に目を向けていくことができる良いきっかけとなった研修だったと感じました。

◎鈴木(章)君(中学3年)

私は英語があまりよく(と言っていいくらい)できません。なのでかなり緊張という心配していました。アメリカでホストファーザーとの初対面の時も「うそ二人きり? ヤバイよ本当ヤバイよ。英会話ハンドブックも使えないし、、、本当に困った。」などと思ったのですが、私はコミュニケーション能力が異常

なくらいあるので何とかできました。とりあえずあべとぺな日本の英語を話しながらも相手の話を聞いていけば97%何とかできます(たぶん)。あとは実際に行ってみればわかります。人に聞くより自分で体験したほうがわかりやすいです。

◎松崎(新)君(中学3年)

ホームステイでは日本ではすることのできない経験をしたりしました。

キャンプも初めてしましたが自然を感じられて良かったです。

最後の市内研修もいろいろなマナーを知ることができました。アメリカでたくさんの経験ができて良かったです。

【TOMODACHIサマー2014 参加者インタビュー&OECD東北スクール in Paris 体験記】

本校の海外研修の他にも、様々な国際交流企画があります。本校生も既に積極的に活動していますので、皆さんにも是非、このような体験をして欲しいと思います。ここで、参加者のインタビュー・体験記を紹介させていただきます。

◎熊谷(安)君(高校1年)

Q. TOMODACHIサマー2014では、どのような活動をしましたか?

A. カリフォルニア大学バークレー校で、「都市環境」をより良くするにはどうすればよいのかという講義を受けました。私の班では特

に交通について学びました。

Q. 参加したきっかけは？

A. もともとアメリカに興味があり
ましたし、震災復興プロジェクト
という点に魅力を感じ、申し込み
ました。

Q. 参加して良かったと思う点は？

A. より具体的な復興の方法につ
いて話し合い、考えることができた
点です。

Q. 今回の体験を今後の生活にどの
ようにいかしたいですか？

A. 今回の体験を通して、積極的に
話し合いに参加したり、自分の意
見を話したりする力が身についた
と思うのでそれを実践していきたい
です。

◎高橋 (昌) 君 (高校2年)

Q. TOMODACHIサマー2014では、ど
のような活動をしましたか？

A. 熊谷君と同じ班で活動をしまし
た。

Q. 特に印象深い活動は？

A. 3週間の活動でしたが、特にこ
れというよりはどれも有意義に感
じられました。

Q. 参加したきっかけは？

A. 私自身、リーダーという立場を
経験することが少なかったのでス
キルを学びたかったことと、海外
に出て様々な刺激を受け、成長し
たいと考えたからです。

Q. 参加して良かったと思う点は？

A. アメリカ文化に基づいた「リー
ダーシップ」というのがどうい
うものなのかを肌で感じることが
できた点です。

Q. 今回の体験を今後の生活にどの
ようにいかしたいですか？

A. 現在、参加している企画がある
ので、そこで今回学んだリーダー

シップを発揮していきたいです。

◎廣島 (佑) 君 (高校2年)

私は8月27日～9月3日の日程で
OECD (経済協力開発機構) 主催のOECD
東北スクール in Parisという企画に
参加してきました。

この企画は、パリのエッフェル塔の
下の広場で、岩手、宮城、福島から集
まった中高校生100名が、東日本大
震災で被害を受けてついでに悪
いイメージを払拭するために、東北の
良さを全世界に向けて発信するとい
うものです。

中高校生が中心となって企画から資
金調達までするというので私が中学
生の時から約2年半、この企画の準備
をしてきました。その努力が実ったの
か、イベントは大成功をおさめる事
ができました。このイベントに参加し、
普段では経験することができない体
験をしました。その経験をこれからの生
活にいかしていきたいと思いを
ます。

【ホストファミリー登録

随時募集中！】

現在、仙台にも多くの短・長期留
学生が訪れていることは皆さんもご
存知かと思えます。本校を訪問して
くれる留学生が増えれば、皆さん
の学校生活をより豊かなものにす
る一助となると思えます。さて、皆
さんは本校の「ホストファミリー登
録」をご存知でしょうか。これは、
ホストファミリーをして
くれるご家庭を事前に登録しておく
もので、より希望に合った留
学生を招待できるというメリッ
トがあります。

「ホストファミリーには興味がある
けど、時期が合わなくてできな
かった。」とか、「検討期間が短
くて申し込めなかった。」とい
うことがなく、よりスムーズに
受け入れをしていけるよ

う考えていきますので是非、ご
検討下さい。宜しく願い致し
ます。詳しくは国際交流委員の
先生まで問い合わせ下さい。

【ホストファミリー登録について】

- ・ホストファミリー受け入れ可能
として、学校に登録します。
- ・留学生の候補が見つかり次第、
受け入れ可能かどうか連絡しま
す。
- ・謝礼金 (1万円/月) が学校から
支給されます。幹旋団体 (JFIE)
からも同額が支給されます。

【第32回海外研修について】

第32回海外研修の実施要領が
まとまりました。詳細については、
本日の奨学会で配布されるプリン
トをご覧ください。

初めての海外体験になる生徒・保
護者の方にとってはいろいろ心配
な点もあるかと思えます。どうぞ
お気兼ねなく、国際交流委員まで
お問い合わせ下さい。

【英会話教室】

- ・基本的に毎週月曜日に行ってい
ます。英会話講師のケヴィン先
生と国際交流委員の先生が指導
にあたります。
- ・事前申し込み不要なので是非参
加して下さい。
- ・今年度の日程は次のようになって
います。

10月20日、27日、11月10日、
17日、12月1日、8日、15日、
22日、1月19日、26日、2月2日、
16日、23日、3月9日

なお、海外研修に申し込みをした
生徒は毎週参加することになって
います。